

Claudius Lünstedt リュンシュテット 朗読会

犠牲者/殺人者/目撃者
3人の若者が紡ぎだす不条理



若手劇作家リュンシュテットがやってくる。テヘランに滞在し『テヘラン 1386』を書いた彼が、今度は日本を題材にした作品に挑んでいる。

今回取り上げるのは ***Krieger im Gelee*** (2008 年初演)

作者自身の朗読をまず聞いてもらおう。3人の長いモノローグによる芝居だ。『罪と罰』のラスコーリニコフや、カミュの『異邦人』を思わせる、鬱屈した社会からの荒ぶる解放 …

朗読会に集え！みんなで語り合おう。7時からの懇親会にも参加請う。

日時:2012 年7月4日(水)16:30~18:30

会場:大阪大学箕面キャンパス、記念会館2F 会議室

主催:外国語学部、市川 明ゼミナール

《問い合わせ》大阪大学、市川 明 研究室 (06-6850-6348)